

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	+laughイナギ		
○保護者評価実施期間	2025年1月1日		2025年1月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	36	(回答者数) 30
○従業者評価実施期間	2025年1月1日		2025年1月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	22	(回答者数) 15
○事業者向け自己評価表作成日	2025年1月25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	地域との関わり	地域の方が気軽にお越し頂けるような周知・発信を工夫しつつ、きっかけづくりの為にイベント等を実施している。また、市民向けの啓発的な講座の企画を行う。	地域の方々との交流機会を担保しつつ、感染症対策もしっかりと実施していく事で、みんなが安心して楽しめる場作りを行っていく。
2	柔軟な対応	基本的なご利用時間はありつつも、ご利用者の事情やスタッフの配置等を鑑みる事で、画一的とならずに対応可能な範囲で柔軟な対応を実施している。	ご利用者様やご家族様の状況や背景を一層理解していく事で、オリジナルなサービス提供を行っていく。
3			

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	発災時対応の周知・発信	定期的なマニュアルの更新及び、実態に即した避難訓練等の周知や発信が不足している。	開催している防災委員会の中で必要なマニュアルの更新を実施していく。また、避難訓練や防災備品の整備の確認を年間スケジュールの中で実施していく。
2	保護者同士の交流機会の確保	事業所を開放し、年1回は保護者会を開催しているが、頻度やテーマごとの開催が十分行えていない。	保護者会や気軽に交流できる機会を確保すると共に、テーマを定める事でより具体的な相談が出来るように取り組んでいく。
3	スケジュール等の伝達	活動内容やスケジュールについて、見通しをもった計画が立てられておらず、周知が遅れている。	活動内容のスケジュールを週間や月間で立てていく事で、画一的にならないように留意しつつも、見通しが立てられるように取り組んでいく。